

緊急通報機能

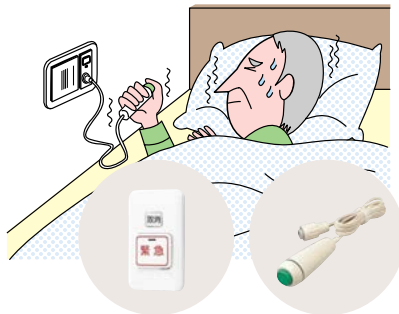
緊急ボタンを押したり、センサーが検知するとスタッフへ知らせるので、入居者さまに安心です。

緊急通報



ボタンを押すだけで、体調の急変などをお知らせします。

リビング・寝室・バス・トイレなどに、異常を知らせる緊急呼出ボタンを設置することで、気分が悪くなったときも近くのボタンを押して、スタッフへ知らせることができます。



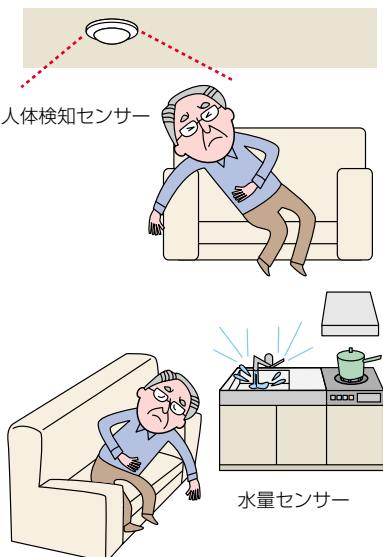
緊急呼出ボタン
(押しボタンタイプ) (握りボタンタイプ)

生活異変通報



センサーが入居者さまを見守り、異常をお知らせします。

センサーが一定の時間、入居者さまの動きがないことを検知した場合、生活異変としてスタッフルームに通報します。センサーは人体検知センサーか、水量センサーが選択できます。



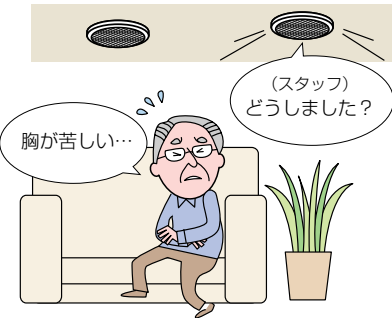
緊急時拡声通話



ハンズフリー応答で、緊急事態を素早く伝えます。

入居者さまが緊急通報をすると、天井スピーカーを通じてスタッフが呼びかけることができます。入居者さまはその場で声を出すだけで応答できるので、動けない場合も異変を知らせることができます。

※高齢者住戸には天井マイク・天井スピーカーを設置してください。

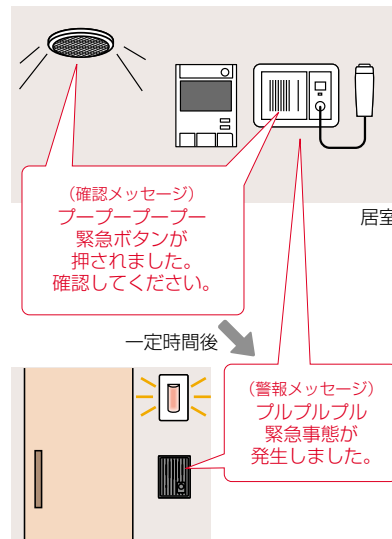


音声警報メッセージ



通報を音声で確認できます。

緊急ボタンを押してから一定時間がたつと、住戸玄関・居室・スタッフルームから音声による警報メッセージが流れ、異変を広く知らせます。センサーが異変をキャッチした際も、同様に音声メッセージが流れます。



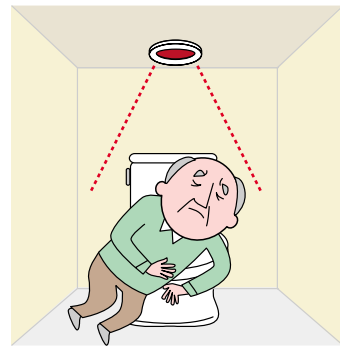
トイレ用センサー



トイレで動けなくなった場合センサーが検知し通報します。

センサーの設定時間以上トイレに入っていると、異常があったとしてスタッフルームに通報します。トイレで動けなくなった場合に備えた機能です。

※センサーの設定時間は20分・30分・50分の中から選べます。



在・不在検知



人の動きを検知し、自動的に住戸内の見守りを開始します。

住戸玄関の外鍵を施錠すると、センサーは不在モードになり、住戸内の見守りをやめます。住戸内に留守番の人を残して外出した場合、外鍵を施錠した時点で不在モードになりますが、センサーが住戸内の人の動きを検知すると自動的に在室モードに切り替わり、再び見守りを開始するので安心です。

※センサーは人体検知センサーと水量センサーがあります。
※寝たきりなど動けない人を住戸内に残す場合は、在室ボタンを使用して在室を知らせることができます。

